

授業科目名 <英訳>	東洋史ⅢA Oriental History ⅢA		担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 教授 石川 禎浩 人文科学研究所 准教授 村上 衛 人間・環境学研究所 客員准教授 武上 真理子 人文科学研究所 助教 森川 裕貴			
群	人文・社会科学系科目群		系列	歴史・文明系（基礎論・東洋）		使用言語	日本語
旧群	A群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態 講義
開講年度・ 開講期	2015・前期	曜時限	火2		配当学年	全回生	対象学生 全学向
【授業の概要・目的】							
近年、日中の対立は深刻化し、日中両国民の相手国に対するイメージも悪化している。一方で、日中の経済的関係は依然として密接であるうえ、文化的な交流も根強く続いており、日中が切っても切れない関係にあることは間違いない。本講義は、このような現状に密接に関係する、19世紀後半から20世紀後半までの日中関係を政治・社会・経済・文化の多様な側面から検討する。そして日中間の交流・対立や相違点・類似点についての歴史的な理解を深めるようにしたい。							
【到達目標】							
19世紀後半から20世紀後半までの日中関係について、政治・社会・経済・文化面を中心に基礎的な知識を習得し、日中間の交流・対立や日本と中国の相違点・類似点について歴史的に理解できるようになる。							
【授業計画と内容】							
第1回 ガイダンス 第2回 日中の差違（村上） 第3回 明治維新と洋務運動（村上） 第4回 日中対立と中国経済（村上） 第5回 中国の「西学」と日本の「洋学」（武上） 第6回 万国公法から国際法へ（武上） 第7回 日本留學生がもたらす「新学」と革命（武上） 第8回 中華民国と大正日本(森川) 第9回 中国国民党と日本（森川） 第10回 中国の知識人と日本の知識人（森川） 第11回 中国共産党の革命運動と日本との関係（石川） 第12回 日中戦争と戦後処理（石川） 第13回 日中国交回復への道のり（石川） 第14回 まとめ 第15回 試験							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点及び達成度】							
小テスト（最終回に実施する。）							
【教科書】							
使用しない							
【参考書等】							
（参考書） 吉澤誠一郎 『シリーズ中国近現代史 清朝と近代世界』（岩波書店）							
東洋史ⅢA(2)へ続く							

東洋史ⅢA(2)

川島真 『シリーズ中国近現代史 近代国家への模索』(岩波書店)
石川禎浩 『シリーズ中国近現代史 革命とナショナリズム』(岩波書店)
久保亨 『シリーズ中国近現代史 社会主義への挑戦』(岩波書店)

[授業外学習(予習・復習)等]

参考書などを読み、中国近代史についての基本的知識を身につけてから講義に臨むこと。

[その他(オフィスアワー等)]